

言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部  
2022年度前期日程入学試験問題  
地理歴史（世界史）  
正解・配点・解答例（100点満点）

1 [60点]

- 問1 ローラット法 [5点]  
問2 ファン＝ボイ＝チャウ [5点]  
問3 ブーランジェ事件 [5点]  
問4 グロティウス [5点]  
問5 エチオピア [5点]  
問6 五・四運動 [5点]  
問7 イギリス、フランス、イタリア、日本 [順不同、すべて正解で5点]  
問8 ケロッグ [5点]  
問9 [20点]

【解答例】

ウィルソンは14カ条において平和的な国際秩序を訴え、植民地問題の公正な解決、国際平和機構の設立などを唱えた。植民地が大きな問題となったのは、ホー＝チ＝ミンが指摘するように、第一次世界大戦では兵士や労働力の動員という面で植民地の戦争協力が不可欠だったからである。民族自決の潮流をうけて、中国でも二十一カ条の要求の取り消しや、山東のドイツ利権の返還を求める動きが広がったが、パリ講和会議では受け入れられなかった。この会議では、赤道以北のドイツ領南洋諸島の委任統治権を、日本が得ることになった。一方、1919年には国際連盟が設置され、締約国は戦争に訴えないという義務を受諾した。戦争の違法化という流れは、パリ不戦条約の「国家政策の手段として戦争を放棄する」という規程に結実する。だが、侵略国家に対する制裁手段は経済制裁に限られていて軍事制裁が行えなかったほか、アメリカは国際連盟に参加しなかった。（397字）

2 [40点]

- 問1 綿花 [5点]  
問2 フォード（社） [5点]  
問3 [10点]  
【解答例】  
親イスラエルの立場の西側諸国に対して原油輸出の停止や制限の措置を発動するもの。  
（39字）  
問4 グラスノスチ [5点]  
問5 アムンゼン（アムンセン） [5点]  
問6 A：ブラジル、B：リオデジャネイロ [両方正解で5点]  
問7 京都議定書 [5点]